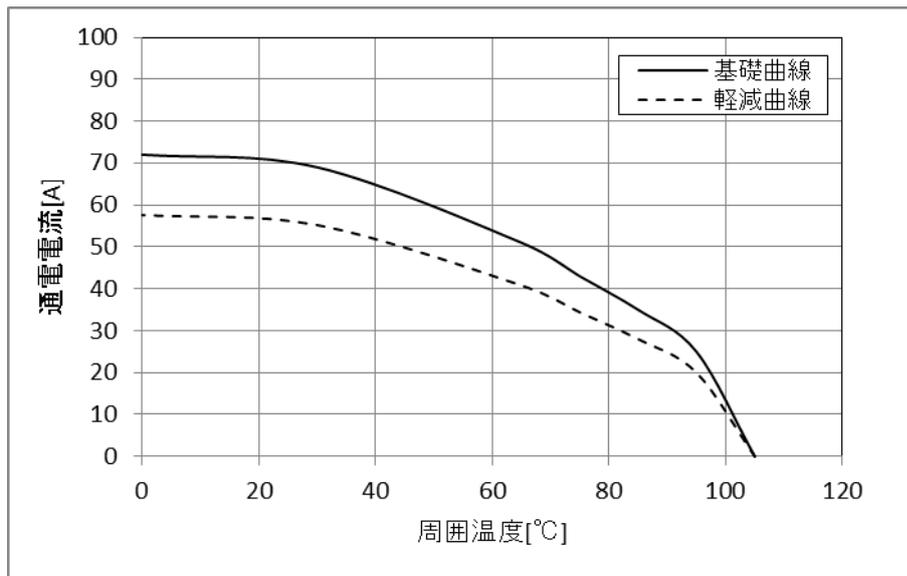


適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)	
	電 流(*1)	42 A	適合コネクタ $\triangle$	DF60A-3S-10.16C DF60-*SCFA	
	電 圧	AC/DC 1000V			
	定格電圧	定格電流	過電圧カテゴリー $\triangle$	IP-保護方式	
UL	AC/DC 600V	55A (周囲温度25℃時) (注5)	-	-	
C-UL	AC/DC 600V	上記参照(*1) (温度上昇30℃以下)	-	-	
TÜV	AC/DC 600V	上記参照(*1)	Ⅲ	IP00	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	DC6V 以下, 1Aで測定する。	2 mΩ 以下	○	-
	絶縁抵抗	DC 1000 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	-
	耐電圧	AC 3000 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 2 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐振性	周波数 10～500 Hz、全振幅 1.5mm、 加速度98 m/s <sup>2</sup> で 3 方向 各 2時間試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 2mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30分 を 25 サイクル 試験する。 槽の移し換えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 2mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐熱性	温度 105 ± 2℃中に250時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 2mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	-
	はんだ耐熱性	【はんだ槽法の場合】 $\triangle$ はんだ温度 260℃ 浸漬時間 10秒間のはんだ付けを行う。 【手はんだの場合】 はんだごて温度 350±10℃、5秒の条件にて はんだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。	機能を損なうような、外観の変形及び 端子等に著しいガタがないこと。 $\triangle$	○	-
	はんだ付け性	はんだ温度 245 °C, 浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだ でぬれていること。	○	-
備考					
(注1) 通電時の温度上昇を含む。					
(注2) 結露のないこと。					
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。					
	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
$\triangle$	5	DIS-H-00005438	TS. MIYAKI	SZ. ONO	20191030
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			承認	KI. AKIYAMA	20160407
			検 図	TS. FUKUSHIMA	20160407
			担 当	TS. KUMAZAWA	20160407
			製 図	TS. KUMAZAWA	20160407
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-336564-27-00	
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	DF60-3P-10.16DSA(27)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL680-3001-7-27	$\triangle$ 1/2

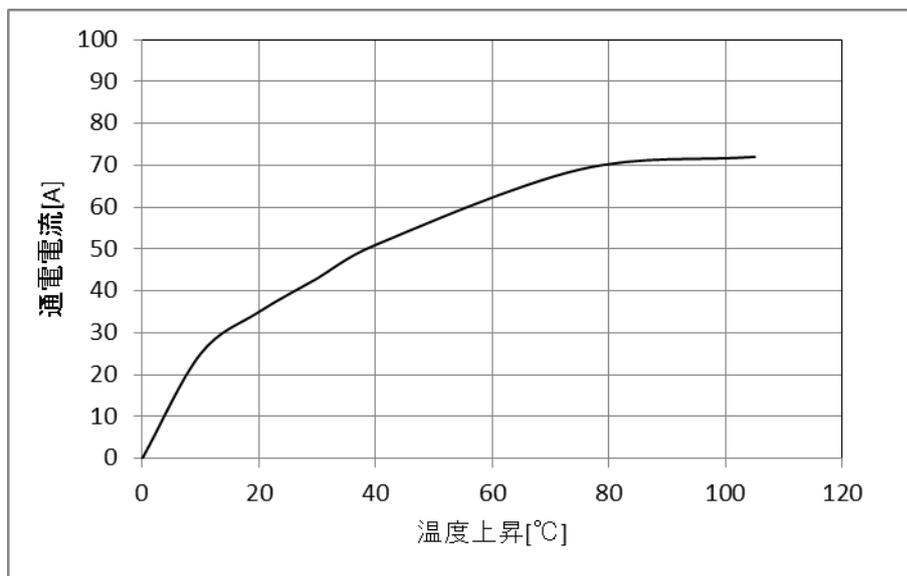
- (注4) 軽減曲線は、基礎曲線の電流値に0.8の軽減係数を乗じた曲線です。
- (注5) 周囲温度25℃にて、樹脂のRTI値(性能が半分になる温度)になる電流を示しています。  $\triangle$
- 定格電流は、コネクタが使われる周囲温度により変わります。  
 軽減曲線(破線)より内側でのご使用をお勧めします。
- (注6) 本製品のディレーティングカーブの測定方法は以下によります。
- ・初期のDF60-6P-10.16DS(27), DF60-6S-10.16C, DF60-8SCFAを使用。
  - ・使用するケーブルのAWGサイズ: AWG 8
  - ・静止状態で通電し、測定。
- (詳細は弊社試験成績書管理番号TR680B-20802によります。)

[参考]

ディレーティングカーブ



温度上昇カーブ



注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目	図番	SLC-336564-27-00		
	製品規格表	製品名	DF60-3P-10.16DSA(27)	
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL680-3001-7-27	$\triangle$ 2/2